令和６年(2024年)
11月１日

東大和市議会だより

290

発行：東大和市議会
編集：広報委員会
〒207-8585　東大和市中央３−930
TEL 042(563)2111　FAX 042(563)5926
E-mail：gikai@city.higashiyamato.lg.jp

もくじ

ページ
2･3　令和５年度決算等に対する討論
4　９月議会の議題から
5　市政を聞く①　【蜂須賀・髙峰・床鍋・木戸岡】
6　市政を聞く②
【関・大川・中間・木下・上林・尾崎】
7　市政を聞く③
【森田・荒幡・佐竹・早川・中野・金井】
8　市政を聞く④　【石田】
topicsあれこれ／陳情の要旨①
9　陳情の要旨②／委員会での議論
一部事務組合議会報告
10　協議会報告／議長が出席した会議①
11　議長が出席した会議②／監査委員の活動内容
「市民の声を聴く会」の開催について
12　議案等の結果／閉会中に行われた会議ほか

9月議会の日程

9月 3日	開会、決算特別委員会の設置及び５会計決算等の付託、議案等審議、陳情の付託など 議員全員協議会
4日	一般質問
5日	一般質問
6日	一般質問
9日	議会運営委員会、一般質問
12日	総務委員会
13日	厚生文教委員会
17日	建設環境委員会
19日	決算特別委員会
20日	決算特別委員会
24日	議会運営委員会
26日	追加議案審議、常任委員会審査報告、決算特別委員会審査報告など、閉会

今号の主な内容

令和5年度決算等を認定・可決
6会派・無所属議員3名が決算等に対して討論
2･3ページ

高齢者新型コロナウイルス感染症定期接種実施経費等を計上した一般会計補正予算(第2号)を可決
4ページ

令和５年度東大和市健全化判断比率について報告
4ページ

東大和市印鑑条例の一部を改正する条例を可決
4ページ

東大和市手数料条例の一部を改正する条例を可決
4ページ

教育委員会委員に新庄涼子氏を任命することに同意
4ページ

市選挙管理委員会委員及び同補充員を選出
4ページ

一般質問　17名の議員が市政を聞く
5･6･7･8ページ

令和6年11月17日(日)に「市民の声を聴く会」を開催します
11ページ

街のひとコマ

「玉川上水駅と栄光の虹」

撮影：中村富美夫さん
（桜が丘在住）
撮影場所：玉川上水駅前

次号２月１日発行の市議会だよりの表紙を飾る写真を募集しています。（写真は横構図のものをご提出願います）
詳しくは、11 ページをご覧ください。

令和５年度決算等を認定・可決

６会派・無所属３名 令和５年度 決算等に対する討論

【決算特別委員会】
（開 催 日）
9月19日･20日
（委 員 長）
床 鍋 義 博
（副委員長）
上 林 真佐恵

令和５年度一般会計・３特別会計・下水道事業会計決算及び「令和５年度下水道事業会計剰余金の処分について」を決算特別委員会に付託し、２日間にわたり審査しました。その結果、いずれも認定・原案どおり可決すべきものと決し、最終日９月26日の本会議にて採決を行い、賛成多数または全会一致で認定・可決しました。
本会議では、採決に先立ち６つの会派の代表者と無所属議員３名が討論を行いました。
討論順に従い要旨を掲載します。

※３特別会計…国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計

百億円貯め込みながら特養ホーム整備に背を むけ、突然の一時保育廃止。暮らしを守れ 共につくる東大和　尾崎利一

一般会計、国保・介護・後期医療、下水道の各会計決算に反対だ。

市長が３学期からの学校給食無償化を明言した。意見書提出や予算組替え提案、市長、教育長要請など８年間求めてきた。歓迎する。10月から18歳までの医療費が完全無償化される。10年間求めてきた。市長の決断に敬意を表する。

市民の所得は平成９年度から55万円も減って326万円だ。生活は年々厳しい。市は財政が厳しいと99の市民サービスを廃止・縮小する一方で令和５年度20億円の黒字で、基金も98億円と増え続けている。老朽化施設再編のための公共施設整備基金は、目標の22億円を大きく超えて49億円を積んでもなお積み立てるという。目標額を具体的に示すべきだ。建替えに４億円かかるとして唯一の公立保育園を廃園することに抗議する。公共施設、小中学校統廃合に反対し、老朽校舎の建替えを求める。

市民サービスを削って基金を積み上げるのでなく住民福祉の向上を図るべきと予算組替を同僚議員と提案した。地方自治体の役割は、金儲けでなく住民福祉の向上だ。

奈良橋市民農園の廃止、周辺市の２倍、３倍高い清原中央公園運動広場利用料の決定、８億円から27億円に膨れ上がった狭山緑地アスレチック改修事業の説明等は、市民参加に逆行する運営だった。

６年度にも、子ども家庭支援センターの一時保育、子育て広場の廃止が突如示された。抗議する。

気候危機対策、ジェンダー平等を重点施策にすべきだ。

国保加入者の所得ゼロ世帯は42％に増えた。国保税の連続値上げと多子世帯軽減廃止に抗議する。

特養ホーム整備の優遇措置のある国有地の利用を断ったことに抗議し、都有地活用など速やかな整備を求める。介護保険料値上げが不要だったことは決算で明らかだ。

武蔵村山市より４割以上高い下水道使用料の大幅値下げを求める。

和地市長の新たな取組を評価。健全な財政運営と 決算や事業評価を生かした予算編成を望む　公明党　佐竹康彦

東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

公明党を代表して、事務効率化実現など成果を上げたことを高く評価する。

徴収事務では、令和５年度も収納率向上に努めたことを評価する。

保育園事業では、待機児童ゼロの達成を継続した。都内初のインクルーシブ保育園であるどろんこ保育園の開設準備を進め、保育環境整備に尽力したことを評価する。

国際理解教育推進事業では、多摩26市初の中学校オンライン英会話レッスンをスタートした。他地域に先駆けて推進したことを高く評価する。

令和５年度は従前の事業を着実に進めると同時に、持続可能な行政運営の在り方へ大きな一歩を踏み出せた１年であったと考える。

財政課題や公共施設の更新等、困難な課題はいくつもあるが、和地市長のリーダーシップの下、今回の決算や事業評価を踏まえて、新たな東大和市の歴史をつくる心意気で新年度予算編成に臨まれることを望み、賛成討論とする。

住みたい・住み続けたいが実感できる 市政の推進を求める　自由民主党新政会　木下富雄

歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

自由民主党新政会を代表して、令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

令和５年度の我が国の経済は、コロナ禍の３年間を乗り越え、改善しつつあるが、なかなか前向きな動きが見られず、税収などは増加しているとのことだが、他方、輸入物価の上昇に端を発する物価高は国民生活を圧迫し、回復に伴う生活実感を妨げている。当市は、収納率は年々向上している中、市税は1.2％減少であるが、国や都の交付金等を活用し、扶助費に前年度より約10億円増の総額135億円超を投入し、市民の生活・暮らしを支援したことを大いに評価する。

また、次世代を担う児童・生徒への教育として、インクルーシブ教育の推進や企業版ふるさと納税、多摩地域初となる１人１台端末を活用したマンツーマンの中学校英会話授業導入、小学校の英語教育におけるネイティブスピーカーの指導助手導入、ＡＩ教材を用いた授業の導入など、児童・生徒の関心・興味が高まる先進的な教育体制の構築も高く評価する。

また、市の最たる観光資源の狭山緑地を大勢の方に訪れてもらえるような改修にも大いに期待する。

最後に、重要施策推進の最前線の現場職員のためのＣｈａｔＧＰＴの導入、働き方改革に関わる勤務間インターバルの導入、女性再就職応援宣言等の導入により、職員のやる気向上の土壌育成に、そして市政に、和地市長の力強いリーダーシップと経営センスを生かし、東大和に住みたい、住んでよかったと実感できるよう、前例踏襲に捉われず、時代に合った持続可能な行財政運営、市民サービス向上にまい進していくことを強く要望し、賛成討論とする。

現下の地方財政にあって、最善を尽くしていると評価 長期的展望に立った財政運営の確立を期待　やまとみどり　金井康哲

やまとみどりを代表して、令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

先般の決算特別委員会での質疑において、平素予算執行にあたり、各事業について、しっかりと事業目標を定め、それに向かって業務を遂行していることが伺われた。その点で職員に敬意を表したい。

令和５年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類感染症に移行し、これまで自粛要請されていたイベントの復活等といった動きも見られ、まちは以前の活気を取り戻したような年でもあった。

依然として物価高騰など厳しい財政環境において、市は自主財源をはじめ依存財源の確保に最大限の努力をされたことを評価する。

経常収支比率は市が目標とする数値を上回っている。しかし、視点を変えれば地域福祉などの行政サービスが拡充されているとも捉えられる。適正とされる数値に固執し、福祉サービス削減を中心とした行政改革を進めないよう望む。

次に施策について、東大和どろんこ保育園の開園に向けた取組など子ども・子育て支援施策は、数多く評価できるが、一時預かり事業については、今後、サービス低下がないよう強く望む。

また、都市の価値を高める施策は、転入促進・転出抑制を目指した様々な取組を評価する。少子高齢化が進行する中、地域の経済やまちの活力低下が懸念される。

魅力ある地域づくりを進めていくためには、その核となる住民の理解と愛着、地域への誇りと帰属意識を高めることが一層重要だ。自治体マーケティングという考えが示される中「未来につながる市政」の実現に向け、和地市長のリーダーシップのもと、さらなる推進を期待して、賛成討論とする。

前例踏襲にとらわれず、市長のリーダーシップで未来へつながる市政を目指せ

立憲国民クラブ　一宮由子

立憲国民クラブを代表し、令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

今回の決算では、国や東京都からの財源を活用した新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策や民間保育園等施設整備補助、中学校全校におけるオンライン英会話レッスンの導入や学力向上を図るためのＡＩ型教材ソフトの導入、第七・第九小学校統合新校建設に向けた基本構想の策定、出産・子育て応援ギフト等の支給、（仮称）東京街道運動広場管理棟新築工事や公共施設における空調及び照明設備等更新工事、都市マスタープランの改定に向けた施策や「行かない市役所」、「書かない市役所」、「デジタル市役所」を目指す東大和市ＤＸプランの策定など、これらは全て持続可能な市政の実現に向けての施策であると認められるところであり、評価する。

そのほか、細かく言えば第二小学校内学童保育所の開設や帯状疱疹ワクチン接種、高校生等への医療費助成なども評価する。

財政面では、自主財源と依存財源の構成比は前年度と変わらないものの、市税収入は減少となった。景気の後退が垣間見えることもあり、この傾向は今後数年は続くものと考える。また、前年度に続き経常収支比率の悪化が顕著であり、注意が必要と考える。改善を期待したい。審査意見書にもあるとおり、前例踏襲にとらわれず、時代にあった行政の実現に向けた行財政運営を目指すとともに、市民サービスの向上に努めてほしい。そして、より一層の歳出縮減とさらなる歳入確保に向けた努力を望む。

最後に、こうした市政の課題解決に向け、未来へつながる市政を目指した、和地市長のリーダーシップの発揮を今後も期待する。

大きな財政負担が待ち構える中、真に必要なものを見極め市政運営に努めることを期待する

自由民主党　押本修

自由民主党を代表して、令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

令和５年度は、５月に新型コロナウイルス感染症が５類感染症へと移行したが、引き続き感染症対策や、物価高騰に対応するための財政負担に追われる中、地方財源の確保に尽力され、補正予算を組み、子ども・子育て支援や高齢者対策等の取組を次々と実践された。

市長が掲げる経営資源の４大要素ヒト・モノ・カネ・情報について代表的な活用例に触れる。

まずはヒト。優秀な人材確保は、組織経営にとって最も大切だ。令和６年７月１日付職員採用試験実施、勤務間インターバル宣言、女性の再就職応援宣言等を評価する。

次にモノ。都市マスタープランの改定に向け、東大和市の将来都市像としての全体構想の素案を作成。東大和市駅周辺のにぎわい、活力のある魅力的な拠点形成に向けた検討準備に取りかかれている。

カネ。財政調整基金が約26億円、公共施設等整備基金が約49億円に積増しされたことが確認された。将来に向けた対応、特に公共施設再編に向けた取組は不十分なため、引き続き基金への積増しを求める。

情報。ＬＩＮＥ活用プロジェクトは、その効果に大いに期待する。

最後に、10月から高校生等までの医療費完全無償化開始、来年からの学校給食費無償化も表明され、フィールドアスレチック整備事業費の増額もある。職員俸給の大幅なベースアップ予定も聞いている。

大きな財政負担が待ち構えるが、市長におかれては、自らの信念を決して曲げることなく、真に必要なものとそうでないものとを見極め、これからも持続可能な市政運営に努めることをお願いし、賛成討論とする。

給食費無償化の安定した継続、ずっと住み続けたい東大和市を目指す

無所属　髙峰章

令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

令和５年度決算等では、物価高騰対策として、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金、学校給食食材料費高騰対応助成金等を実施。市民の家計を援助する施策を評価する。

このたび都は、小・中学校の給食費負担軽減に関して、３学期分から市町村への補助割合を引き上げる方針を示した。無償化した場合の市の負担額をしっかりと把握され、給食費無償化を今後も安定して継続できることを願う。

次に、狭山緑地フィールドアスレチック改修事業として行うローラースライダーの設営において、利用時に想定される事故について、総延長の見直し、監視人員の配置等、ハード、ソフト両面から綿密な事故対策の検討を要望する。

最後に、公共施設等の老朽化は当市だけにその責めを帰す問題ではない。都内の他自治体、国全体で見られる問題だ。老朽化対策により、市民のために使う財源に、しわ寄せがきている。必要な財源の捻出について、早急に国、都からの補助金を求める折衝を持つことを要望し、賛成討論とする。

市民の声を反映させる市政運営を。子育てや生活がしやすい東大和となるよう求める

無所属　関綾子

令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の討論を行う。

令和５年度はコロナ関連の制限が緩和されていったが、コロナ禍で顕在化した社会の問題に対し、引き続き社会の再構築と福祉の視点に立った施策展開が必要となる。

和地新市長の下、女性の再就職応援宣言や勤務間インターバル宣言の取組を評価する。職場環境整備では、職員間ハラスメントに対し外部専門家を入れるなど公正な対応ができる仕組の確立を求める。

子育て支援では、子ども家庭支援センターの一時預かりが多く利用され、「かるがもひろば」などとともに、市民が安心して使えるものであったと思う。同施設内で行われている相談支援との連携も果たしてきた役割は大きい。今年度末で子ども家庭支援センターは廃止されるとのことだが、「民間保育園にお任せ」ではなく、市の子育て支援事業の継続等の検討を求める。

今年度３学期から無償とされる学校給食については、ただ無償とするのではなく、給食の存在意義が高まる取組とするため、友好都市・喜多方市との連携による食材の調達等、今後の展開を期待する。今後、より一層の市民参画の推進を求め、賛成討論とする。

誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくりの推進を望む

無所属　大川元

令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算及び３特別会計歳入歳出決算並びに下水道事業会計決算の認定について、「令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について」に、賛成の立場で討論を行う。

学校教育施策では、国際理解教育の推進を図るために、オンライン英会話レッスンを導入したほか、基礎学力の定着や生徒の意欲向上を図るために、小中学校のモデル校においてＡＩ教材ソフトを導入するなど、先進的な視点で事業を実施された。

子育て支援では、国や東京都の財源を活用し、子育て応援ギフトの支給、高校生等応援給付金の支給、学校給食食材料費高騰対応助成金を実施、もうすぐママ応援給付金支給を市独自で実施された。子育て支援の数々の施策は、東大和市が子育てしやすいまちとして選ばれることにつながると考える。

また、「行かない市役所」、「デジタル市役所」を目指す東大和市ＤＸプランを策定し、デジタル技術の活用による市民の利便性向上、さらなる事務の効率化も進めた。

和地仁美市政における数々の事業は、将来の東大和市に大きな効果を持つ事業だ。引き続き、市長が掲げる未来につながる市政を目指し、誰もが未来への希望が持て、住み続けたいと思えるまちづくりの推進を要望し、賛成討論とする。

HOT NEWS 9月議会の議題から

●議案の結果については最終面の議案等の結果もご参照ください。
●文中の条例・陳情などの名称は一部省略しています。
●決議・意見書の記事における文言については、原文のままの表記を使用しています。
●日付等については、９月議会時のものです。

高齢者新型コロナウイルス感染症定期接種実施に係る経費等を計上した一般会計補正予算（第２号）を可決

小児インフルエンザ予防接種及び高齢者新型コロナウイルス感染症定期接種の実施に係る経費等を計上した一般会計補正予算（第２号）案が提案され、可決しました。

歳入歳出補正予算額は、25億6693万8千円の増額で、主な歳入については、「地方交付税」が、令和６年度の交付額決定に伴う普通交付税の７億9903万円の増額。「繰越金」が、令和５年度の決算剰余金確定に伴う前年度繰越金の17億5874万5千円の増額。

主な歳出は、「総務費」が、庁舎管理費の増額及び令和５年度の精算に伴う福祉関係返還金の計上等による４億8362万9千円の増額。「衛生費」が、母子保健事業費及び予防事業費の増額等による２億2812万5千円の増額。「諸支出金」が、基金積立金（原資分）の18億564万円の増額で、決算剰余金の２分の１に相当する額を財政調整基金に、その他は公共施設等整備基金に積み立てるものです。

令和５年度東大和市健全化判断比率について報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、市から報告がありました。

財政の健全化を判断するための指標には次の４つがあり、いずれか１つの指標が別に定める早期健全化基準以上の数値となった場合、財政状況が悪化した要因の分析の結果を踏まえ、その改善を内容とする財政健全化計画を作成し、議会の議決を経て、定めなければならないとされています。

①**実質赤字比率**（標準財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合）
②**連結実質赤字比率**（標準財政規模に対する全会計の実質赤字額の割合）
③**実質公債費比率**（標準財政規模等に対する一般会計等で負担する地方債の元利償還金等の割合）
④**将来負担比率**（標準財政規模等に対する一般会計等で将来負担する実質的負債額の割合）

当市の令和５年度決算における４つの指標全てが早期健全化基準を下回る内容となっているため、これらの指標において、当市の財政は健全な状況にあると考えられます。

東大和市印鑑条例の一部を改正する条例を可決

東大和市印鑑条例の一部を改正する条例案が提案され、全会一致で可決しました。

東大和市ＤＸプランで掲げた目標のうち、市役所に行かなくても手続ができる「行かない市役所」を進めるため、条例の一部改正を行うものです。改正内容は、印鑑登録証明書の交付請求について、スマートフォンを使用する交付請求があった場合は、印鑑登録証の提示を要しないことを規定します。また、その場合は郵便等により交付する規定を追加します。

条例の施行日は、令和６年11月25日です。

東大和市手数料条例の一部を改正する条例を可決

東大和市手数料条例の一部を改正する条例案が提案され、全会一致で可決しました。

東大和市ＤＸプランで掲げた目標のうち、市役所に行かなくても手続ができる「行かない市役所」を進めるため、条例の一部改正を行うものです。改正内容は、スマートフォンからマイナンバーカードを使用して住民票や課税証明書等の交付請求を可能とするものです。これに伴い当該証明書等を郵便等で交付する新たな事務が生じることから、条例の別表に「手数料を徴収する事務」、「金額」及び「住民票の除票に記載した事項に関する証明」等を追加します。

条例の施行日は、令和６年11月25日です。

教育委員会委員に新庄涼子氏を任命することに同意

内野裕子教育委員会委員が令和６年９月30日をもって任期満了となることに伴い、後任に新庄涼子（しんじょう・りょうこ）氏を任命することに全会一致で同意しました。

新庄氏は、平成28年から吉祥女子中学・高等学校課外授業ピアノ講師として勤務されています。

また、令和４年４月から１年間、東大和市立第一小学校ＰＴＡ副会長を務められました。

教育について豊富な経験と広い識見を有し、かつ教育事情にも明るいことから次期委員に任命されました。任期は令和６年10月１日から令和10年９月30日までの４年間です。

市選挙管理委員会委員及び同補充員を選出

任期満了に伴う選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を９月26日に行い、それぞれ４人を指名推選により選出しました。

任期は、令和６年10月11日から令和10年10月10日までの４年間です。

市域を４地区に分け、選出した委員及び補充員は次のとおりです。

〔委　員〕
○我妻　英市氏
○北田　和雄氏
○西永　宣昭氏
○糟谷　勝博氏

〔補充員〕番号は補充順序
1　福田　えみ子氏
2　平田　征男氏
3　齊藤　弘子氏
4　一家　晴美氏

議場内等に 字幕表示を導入しました

令和６年第３回市議会定例会から、聴覚に障害がある方や音声の聞き取りに不安がある方にも傍聴しやすい議会となるよう、議場の傍聴席にモニターを設置し、会議における発言等の字幕表示を導入しました。

あわせて、インターネット中継画面でも同様に字幕を表示できるようになりました。令和６年11月以降の常任委員会等についても字幕表示を導入予定です。

※字幕表示されるのは、会議当日のみです。
※ＡＩ音声認識技術により自動で字幕が生成されるため、誤認識・誤変換が起きることがありますので、あらかじめご了承ください。
※この字幕については、市議会の公式記録ではありません。

字幕表示の様子

市議会本会議等の映像を配信しています

インターネット映像配信（生中継及び録画）により、ご自宅から市議会本会議等を見ることができます。

映像配信は、パソコン、スマートフォン、タブレット端末等で視聴ができます。

ぜひ、市議会の様子をご覧ください。

こちらの二次元コードから配信ページにアクセスできます。

本会議、委員会（３常任委員会、予算・決算特別委員会）につきましては、市公式ホームページ（右記の二次元コードからアクセス可）に会議録を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

市政を聞く

9月議会　一般質問要旨

掲載は発音順

各議員が取り上げたテーマ

自　蜂須賀　千　雅
小・中学生の夏季休暇期間における生活／シニアクラブ他

無　髙　峰　　章
小・中学校の給食費負担軽減／図書館・公民館図書室整備他

や　床　鍋　義　博
清原中央公園・清原中央公園運動広場及びその周辺環境整備

公　木戸岡　秀　彦
公園整備／カシオ計算機㈱跡地の状況・周辺交通／ごみ戸別収集他

5ページ

無　関　　綾　子
地方自治の在り方／学童保育所第六クラブ、きよはら児童館の移転他

無　大　川　　元
首都直下地震における臨時情報／第七・第九小学校統合新校建設他

公　中　間　建　二
多摩湖・狭山丘陵周辺魅力創出と観光振興／スクールロイヤー他

自新　木　下　富　雄
平和事業について／東大和市におけるLINEの活用について

共に　上　林　真佐恵
不登校・ひきこもり支援／就学援助／エアコン補助他

共に　尾　崎　利　一
給食無償化／運動広場使用料／介護／特養ホーム／国・都有地

6ページ

自新　森　田　博　之
コミュニティ・スクールの充実／中学校部活動の地域移行

公　荒　幡　伸　一
児童・生徒への相談支援／スポーツ振興／HPVワクチン接種他

公　佐　竹　康　彦
妊婦健診／介護施設における外国人材活用他

無　早　川　美　穂
有機フッ素化合物PFAS汚染への取組／市民への生活支援

や　中　野　志乃夫
多様性社会の実現に向けて／公園・緑地・街路樹等管理について

や　金　井　康　哲
自転車の安全利用／ホタルの里づくり事業／防災士

7ページ

立国　石　田　昭太朗
ＤＸ化の推進について／教育について

8ページ

会派等略称　公 公明党　自新 自由民主党新政会　や やまとみどり　立国 立憲国民クラブ　自 自由民主党　共に 共につくる東大和　無 無所属

小・中学生の夏季休暇期間の生活／シニアクラブ／キッチンカー出店

蜂須賀千雅（自由民主党）

問　課題のある家庭について、体験格差や、食事回数の件など、長期休み前の保護者と学校とのコミュニケーションは適切か伺う。

答　夏季休業期間の初めの時期に、三者面談、保護者会等を実施。家庭の状況について、学校が踏み込んだ話をするのは難しい面もあるが、家庭からの相談等、課題に対し丁寧に対応している。

要望　夏休みに入った途端に2食以下の割合が通常の通学時よりも3倍に増えるとの調査結果も出ている。子供たちがどちらかに行けばお昼御飯を食べられる環境整備について子供食堂の団体との調整も含め、担当部署と連携を望む。

要望　観光資源のさらなる発展につながる可能性を模索する姿勢に地域住民も賛同している。ぜひ引き続き様々な挑戦をしてほしい。

問　老人クラブの名称について時代にあまりふさわしくないのでは。

答　他自治体の事例研究等、今後調査研究していく。

要望　ある機関の調査では男女の老人という言葉に対して嫌悪感や、自分自身には早過ぎるとの回答も多い。ぜひ調査研究をしてほしい。

「さらに豊かな東大和市、ずっと住み続けたい東大和市」を目指す

髙峰章（無所属）

給食の一例

問　小・中学校の給食費負担軽減に関して、令和7年度以降の対応について伺う。

答　現時点では、国や都の来年度以降の補助事業が定まっていないため、市の学校給食費の負担軽減について検討する段階ではない。

問　これは真逆で、今から検討していかねばならないのではないか。

答　現在、負担軽減等実施している財源は国、都の補助金を活用している。来年度以降も同様に、国や都の施策を見なければならない。

要望　都が補助を継続した場合に、市が給食費負担軽減を打ち切ることのないよう、市民に対し、真摯な対応を要望する。

問　旧日立航空機株式会社変電所の東京都指定文化財登録について、令和5年第3回定例会以後の進捗状況を伺う。

答　都より、戦災建造物として基準を満たさないため、登録の候補とするのは困難との回答があった。

問　今後も東京都指定文化財登録を目指す考えはあるのか。

答　多摩地域の戦争遺構を一群のものとして、東京都指定文化財となり得るか調査研究していきたい。

清原中央公園・清原中央公園運動広場活用／東京街道団地周辺整備

床鍋義博（やまとみどり）

清原中央公園

問　清原中央公園には災害時に活用できるかまどベンチが多く設置されている。この公園の防災上の位置づけについて伺う。

答　地域防災計画上は、避難場所として位置づけを予定している。

問　注目度が高まっている今こそ防災訓練などを行ってはどうか。

答　かまどベンチを活用した防災訓練を地域自治会と検討中である。

問　この公園をイベントなどに利用したい場合はどうしたら良いか。

答　条件はあるが、申請をすることで実施許可ができる。

問　清原中央公園運動広場の利用率を高めるために照明設備が必要だと考えるがいかがか。

答　都と調整し、夜間使用を制限している。現状では難しい。

要望　照明があることで、公式な大会が開催される可能性が高まったり、利便性も向上したりするのではないか。今後市民から要望があると思う。ぜひ検討してほしい。

問　東京街道団地周辺の道路・歩道には、雑草が生い茂り、景観が良くない。市の見解は。

答　市民からご意見があれば東京都に連絡し、対応している。

公園・カシオ跡地・多摩湖周辺整備／ごみ戸別収集／給食等

木戸岡秀彦（公明党）

桜が丘中央公園

問　インクルーシブ公園設置の市民意見反映を望むが市の認識は。

答　市公園等再整備方針・再整備計画を令和6年度～8年度で検討。市民団体へヒアリングやワークショップ、意見聴取も行う予定。

問　桜が丘中央公園の遊具等は市民から多くの設置要望がある。市の認識、検討状況を伺う。

答　市全体の公園の機能や役割分担、在り方を踏まえて検討する。

問　カシオ跡地にマンションが建設予定だが、周辺の交通安全対策、保育所等の設置について伺う。

答　必要な対応が図られるよう、開発事業者と協議を進めている。

問　多摩湖周辺道路修繕、防犯カメラ設置等の不法投棄対策を伺う。

答　防犯カメラ等は有効。不法投棄対策を様々検討。道路修繕の必要は認識。優先順位に基づき行う。

問　ごみの戸別収集の検討状況は。

答　近隣自治体のヒアリングや清掃事業協同組合と意見交換を行う。

問　調布市の高齢者が児童とともに給食を食べる「ふれあい給食事業」を検討できないか。

答　学校施設の更新も見据え、教育委員会と連携し、進めていく。

上記の二次元コードを読み込むと、その議員が行った一般質問の動画の一覧が表示されます。一覧の最上部に表示されている動画が、直近に行われた一般質問です。視聴したい動画の再生ボタンを選択し、ご覧ください。

子ども・市民の参画の推進と女性支援新法に係る取組を問う

関　綾子（無所属）

問 市と市民が対等で一緒に作っていく自治がどうしたら進むか。

答 まずは情報共有を進めている。次に協働という形があり、その先のステップに「市民が自分で決める」という自治があると考える。

問 市民による事業の提案や、予算の提案の制度がつくれないか。

答 市民提案事業では助成が終わると活動の継続が困難となる。予算提案では財源の問題や議会軽視という意見もあるなど検討が必要。

問 移転するきよはら児童館について、市民や子どもが議論をして決定に関わる検討方法への考えは。

答 同規模施設・用途が基本。時間の制約もある。検討委員会は設置せず、いただいた意見からニーズを捉え反映する仕組みをつくる。

問 女性支援について、相談先を分かりやすく周知できないか。

答 各相談窓口の連携協力によって行われている。現時点では新たな窓口の設置等は検討していない。

問 女性支援を行う民間団体への財政的支援を行えないか。

答 民間団体との連携が少ないため、まずは情報収集等により連携や財政支援の可能性を検討する。

民間企業と協働し、官民連携による課題解決を

大川　元（無所属）

問 地域活性化包括連携協定の締結企業と協働し実施している施策の効果について伺う。

答 企業の保有する人材、ノウハウなどの資源を活用いただき、地域の抱える問題の解消や、各種講演会開催などにより住民福祉向上に大きなメリットを得ている。

問 さらなる協定の締結を検討している企業があるか伺う。

答 様々な企業と話す機会がある。今後合意できるか調整する。

問 今後も民間事業者と協働していくと考えるが、包括連携協定に対する今後の期待等、所見を伺う。

答 行政が抱えている課題も複雑化・多岐にわたる中、外に目を向けて色々な課題を解決していく必要性を感じている。行政も市民の皆様の役にたてるようにスピード感をもって解決できるよう民間企業との連携を発展させていきたい。

要望 民間企業もどのような社会貢献をしているかをみられる時代である。

市は少数精鋭で迅速に課題解決していくため、民間との連携強化は効果的だと考える。今後も臨機応変な対応を要望する。

狭山丘陵のさらなる魅力創出と学校弁護士の導入を求める

中間建二（公明党）

問 多摩湖・狭山丘陵の新たな魅力を創出していくための課題をどのようにしていくのか伺う。

答 民間事業者と連携した観光振興、飲食店舗などの立地誘導、狭山緑地フィールドアスレチック改修事業の推進など、観光資源を保全しながら有効活用していくことであると認識している。

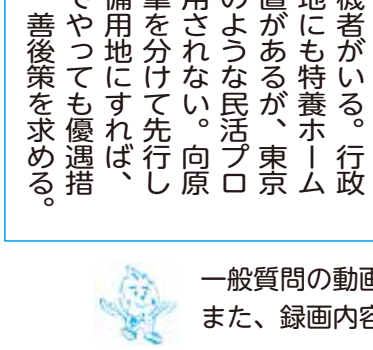
問 東京一のローラースライダーを整備することで、この場所をどのようにしていくのか伺う。

答 魅力的なレクリエーション空間を形成することで、市内外の多くの方に来訪していただき、豊かな自然環境の中で誰もが一日中楽しめる場としていきたい。

問 学校現場では、いじめや児童虐待、保護者からの過剰な要求など教員の負担も相当に重くなっている中で、解決困難な事例もあると思う。弁護士を積極的に活用し、適切な相談支援体制を構築していくことが必要と考えるがいかがか。

答 学校現場、校長先生にとって学校弁護士がいることは大変に心強い状況であると認識している。国、東京都の動向等も踏まえながら、研究を進めていきたい。

平和教育とLINEの活用について伺う


旧日立航空機株式会社変電所

木下富雄（自由民主党新政会）

問 小学校の社会科の教科書では旧日立航空機株式会社変電所に関する内容が記載されているとのことだが、令和7年度から使用される中学校の教科書の採択状況を伺う。

答 採択された社会科歴史的分野の教科書では「多摩地域の空襲を調べる」をテーマにして立川市と東大和市を取り上げている。その中で旧日立航空機株式会社変電所について扱っている。

要望 旧日立航空機株式会社変電所という戦災遺構を用いた、地域に即した平和教育の副読本の作成を要望する。

問 LINEを活用したDXの推進について伺う。

答 令和6年度中に図書館システムとの連携を予定しており、図書館カードのバーコード表示やお知らせの配信などを検討。メニューから各種証明書の申請及び手数料決済等ができるよう準備している。オンライン申請のより一層の充実を図り利便性の向上に努めていく。

要望 システムを介しても心の通い合えるという観点を忘れないよう、推進してほしい。

不登校・ひきこもり支援の強化精神障害者へのタクシー券交付

上林真佐恵（共につくる東大和）

問 ひきこもり相談窓口はプライバシーに配慮し独立した部屋で安心して相談できるようできないか。スペースと経費に課題があり現状では困難である。

答 相談を受ける担当者の体制は。担当者は1名である。

要望 安心して相談できる独立した部屋での相談窓口の確保と担当者の複数体制を求める。

問 校内サポートルームは都の2年間の事業を活用したものだが、五小と三中は今年度限りと聞いている。来年度以降の見通しについて伺う。

答 不登校対策に関する施策や学校のニーズ等を考慮し検討する。

要望 今後も継続を求める。

問 サポートルームでの学習を評価できないのか。

答 自宅での学習状況を文章記述をするなど、柔軟に対応できるよう支援をしていく。

問 精神障害者に福祉タクシー券が交付されていない理由を伺う。

答 状態により支援の必要性が異なるため要件の設定が困難である。

要望 全ての障害者の移動権を保障するため早急な改善を求める。

給食無償化／子育てひろば・一時保育なくすな／特養ホーム整備を

尾崎利一（共につくる東大和）

問 都内全自治体で給食完全無償化を実現させたいと、東京都が補助を8分の7に拡充する補正予算を計上すると報じられた。給食無償化に踏み出すべきでないか。

答 東京都から正式な通知がない。来た時点で検討する必要はある。

問 子ども家庭支援センターを会議棟に移動させるとのこと。子育てひろばや一時保育をなくすのは反対だ。この土地の今後を伺う。

答 未定だ。売却も含め検討する。

問 特養ホーム整備の際には50年通算で39%の賃料で貸すと、国から8年も前から提案を受けていた桜が丘2丁目の国有地について、市は活用しないと7月に回答した。責任は重大と考えるがいかがか。

答 将来の見通しを考慮して慎重に進める必要がある。

要望 146人の待機者がいる。行政の責任だ。都有地にも特養ホーム等の賃料半額措置があるが、東京街道団地空き地のような民活プロジェクトには適用されない。向原団地の都有地の筆を分けて先行して特養ホーム整備用地にすれば、残りを民間活力でやっても優遇措置が適用される。善後策を求める。

一般質問の動画（上記の二次元コードからアクセス可）につきましては、一般質問当日のライブ配信の約１週間後から視聴できます。
また、録画内容は概ね過去１年分が視聴できます。

コミュニティ・スクールの充実と中学校部活動の地域移行について

森田博之（自由民主党新政会）

問 市は、市内の全小中学校をコミュニティ・スクールに指定した。今後、期待する役割を伺う。

答 教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化を期待している。

問 小中一貫教育への考えは。

答 制度として小中一貫教育は導入していない。中学校区の学校で、学力向上、教職員の相互理解、小中の円滑な接続に取り組んでいる。

要望 コミュニティ・スクールの充実への取組は、子供たちの教育だけでなく、地域課題解決の鍵、さらなる推進を要望する。

問 部活動地域移行の現状を伺う。

答 令和5年度から実施のアルティメット、バドミントンのほか、令和6年度は体操クラブを加えて実施している。

問 指導者の確保は今後どのように考えているか。

答 部活動を希望する教員の兼業や地域団体との連携により、地域人材や専門性の高い指導者の確保に努めていきたい。

要望 部活動地域移行は大きな改革、予算、人材確保、施設利用など課題は多い。地域の特性を踏まえて推進してほしい。

児童・生徒をSNSトラブルから守る施策／スポーツで地域活性化

荒幡伸一（公明党）

問 SNSでのトラブル解消に向けた相談支援の取組について伺う。

答 いじめに関するアンケート調査において、小学校の中学年以上のパソコンや携帯電話を所持している児童・生徒に対する項目を設けて、状況の把握に努めている。学校と家庭で連携して取り組むとともに、必要に応じてスクールカウンセラー、警察、さわやか教育相談等と連携して対応している。このほか、都の作成資料を活用し、利用時間等の自立的な管理、情報を発信するアプリの適切な使用及び自画撮り画像等による被害防止について主体的に考えさせている。

要望 東京都の調査では、小学校1～3年生のトラブルが増えているため、調査対象としてほしい。

問 スポーツに親しみ、健康で元気なまちづくりの推進は、今後の市政運営に欠かせない。清原中央公園運動広場を有効に活用し、地域の活性化に結びつくような取組も必要になると考えるがいかがか。

答 スポーツなどに親しむ方が交流を深めることにより地域の活性化につながるよう、多くの市民が利用しやすい取組に努めたい。

妊婦健診票の利用拡大、外国の介護人材、葬祭費の拡充、道路財源

佐竹康彦（公明党）

問 妊婦健康診査受診票が助産所で利用可能となる。進捗状況は。

答 10月1日から都内助産所での利用に向け手続を進め、利便性向上と負担軽減を図る。市の公式ホームページで適切な周知をしたい。

問 介護施設で外国人材の雇用推進をとの声がある。市の見解は。

答 まずは市内事業所の介護現場の状況確認と必要な事柄の把握に努め、国・都の取組を参考にし、市の支援の在り方を研究したい。

問 東大和市民は火葬場利用で他市より優先度が低いと聞く。せめて葬祭費拡充等を望むがいかがか。

答 火葬場建設や一部事務組合加入は困難だ。国保と後期高齢者医療制度の葬祭費は市独自で改めず、今後も他市と同額にしていきたい。

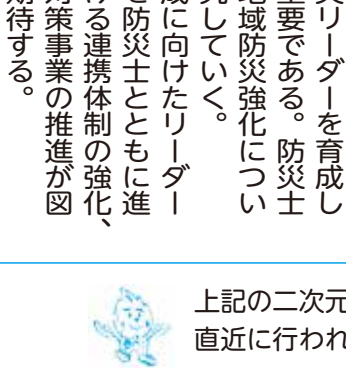
要望 一般会計での新たな補助制度の検討を進めてほしい。

問 道路管理の財源確保へ新たな取組が必要と考える。市の見解は。

答 市長会等を通じ、国や都へ予算拡充の要望を継続する。独自の財源確保は重要と認識。前例踏襲に捉われず、適正な賃料相当額を前提とした道路占用料の見直し等新たな可能性を探っていきたい。

生活保護の自立促進事業やしおり等における適切な公開と周知を

早川美穂（無所属）



問 当市の被保護者自立促進事業要綱が市HPで見られない理由は。

答 単年度要綱のため掲載せず。受給世帯には毎年3月末に本事業も周知しており必要に応じケースワーカーから利用案内している。

問 都の通塾費用支給開始が小1に対し、当市が中1の理由は。

答 自治体が実態に合わせ選択している。小学生は無料学習塾と言える通称マトカを必要に応じ案内。

問 当市の「生活保護のしおり」はビジュアル面の工夫が必要では。

答 様々な方が対象のため表現を平易にしすぎるのも好ましくない。

問 生保の権利より義務を強調した表記はやや怖い印象を受けるが。

答 努力義務は生活保護法を踏まえた記載。都内各市の内容・国や都の助言も参考に作成している。

問 ポスター掲示やチラシ全戸配布の周知も有効と考えるが見解は。

答 掲示等の考えはない。市報掲載と市民の心理的抵抗感が低い「そえる」チラシの関係機関への配布で周知は達成されると考える。

要望 生保を自分事と捉えていただく大々的な周知も決して無意味ではないはず。検討を要望する。

要注意外来生物（植物）への対処について

中野志乃夫（やまとみどり）

アメリカオニアザミ

問 要注意外来生物（植物）のアメリカオニアザミが市内の植樹帯等で繁殖している。対応を伺う。

答 アメリカオニアザミは繁殖力が強く固いとげがあり、触れると危険な植物であると認識。市は、公園等を管理する中で適宜駆除等に努めている。また、市の管理する場所以外は、東京都など当該管理者に適切な対応を求めている。

問 市民から、アメリカオニアザミを何とかしてほしいと相談があった。市、東京都にも言ったが、なかなか動いてないようだというのが最初の発端。市はどう動いたのか具体的な対応について伺う。

答 市民の方から令和6年6月7日金曜日の終業後に宿直担当が連絡を受け、月曜日の6月10日に都市基盤課が引き継ぎ、対応した。現場を確認したところ、都営住宅の通路のため、同日中に東京都住宅供給公社に除去を依頼。その後、市に数回同様の要望があったので、その都度、供給公社へ除去を依頼して7月8日に行ったとのこと。

要望 市民からの問合せに対し、こういうことをやっていると言える形でお願いしたい。

防災士の活用で地域防災力の底上げを

金井康哲（やまとみどり）

問 防災士は、防災訓練や市民啓発など、様々な場において行政と市民の連携を図る中核として活躍も期待できることから、団員数の不足する消防団の負担軽減につながると考える。こうしたことを踏まえ、まずは防災士が活躍するための環境づくりとして組織化を進める必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答 防災について十分な意識と一定の知識、技能を持つ方を組織化していくことでどのように地域防災の強化につながるか、他自治体の事例等を参考に研究していく。

問 避難所運営について、危機管理や災害対策本部とのパイプ役として、各学区域に在住する防災士を配置することは有効だと考えるが、市の見解を伺う。

答 地域の防災リーダーを育成していくことは重要である。防災士の配置による地域防災強化について事例等を研究していく。

要望 人材育成に向けたリーダー養成講座などを防災士とともに進め、地域における連携体制の強化、さらなる防災対策事業の推進が図られることを期待する。

上記の二次元コードを読み込むと、その議員が行った一般質問の動画の一覧が表示されます。一覧の最上部に表示されている動画が、直近に行われた一般質問です。視聴したい動画の再生ボタンを選択し、ご覧ください。

市内小中学校におけるＡＩの活用について

石田昭太朗（立憲国民クラブ）

問　生成ＡＩを利用する際のガイドラインについて伺う。

答　初等中等教育段階における生成ＡＩの利用に関する暫定的なガイドラインが文部科学省から示されている。今後の生成ＡＩ普及を踏まえ、必要な資質・能力をどう考え、教育の在り方をどう見直すか等、国や都の動向を注視したい。

問　授業内での活用について伺う。

答　国や都では、一律に活用禁止していないが、一部の生成ＡＩでは、年齢制限や保護者同意などの利用規約が定められており、規約遵守を前提として、子供の発達段階や実態を踏まえ、生成ＡＩの活用が効果的であるか検討するものと認識。現時点では、授業内での活用は慎重な対応が必要だ。

問　ＡＩ型教材の効果検証方法は。

答　ＡＩ型教材の事業者と連携をして検証の取組を進めている。具体的には、事前テストの後に、同学習範囲の単元学習を行う。学習後に事後テストを実施し、その成果の検証に取り組んでいる。

要望　ＡＩ型教材は様々な種類があるため、当市の子供たちに合った教材をぜひとも選定してほしい。

topics あれこれ

河川改修促進連盟総会・促進大会に出席しました

東京河川改修促進連盟は、都内の河川の氾濫、溢水による災害を防除して住民の福祉を増進するため、これに賛同する特別区、市、町及び村の長並びに議会議員により組織されています。

令和６年８月８日、調布市グリーンホールにて、第62回総会及び促進大会が開催され、当市議会から議長及び議員が出席しました。

総会では、令和５年度事業報告、歳入歳出決算・会計監査報告、令和６年度事業計画（案）及び歳入歳出予算(案)の審議を行い、東京都から河川・下水道事業についての説明を受けました。

促進大会では、意見発表、大会宣言・大会決議を採択しました。

第62回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会

松山市議会議員が行政視察で来訪されました

令和６年７月26日に、愛媛県松山市議会の議員が、行政視察で当市を訪れました。

視察内容は、「オンライン英会話レッスンについて」で、教育部長、教育部参事及び指導担当課長が概要等について説明しました。

松山市議会議員行政視察

滋賀県湖南地区市議会議長会が行政視察で来訪されました

令和６年８月２日に、滋賀県湖南地区市議会議長会の正副議長が、行政視察で当市を訪れました。

視察内容は、「インクルーシブ保育の取組について」で、子ども未来部長、保育課長及び社会福祉法人どろんこ会の職員が概要等について説明し、どろんこ保育園等を案内しました。

湖南地区市議会議長会行政視察

大和郡山市議会議員が行政視察で来訪されました

令和６年８月７日に、奈良県大和郡山市議会の議員が、行政視察で当市を訪れました。

視察内容は、「インクルーシブ保育の推進について」で、子ども未来部長、保育課長及び社会福祉法人どろんこ会の職員が概要等について説明し、どろんこ保育園等を案内しました。

大和郡山市議会議員行政視察

市議会の人事に異動がありました

令和６年８月26日に日本共産党東大和市議団から会派変更届、新たな会派から会派結成届が提出されました。このことに伴い、令和６年９月１日付けで、早川美穂議員が無所属になり、同日付けで、尾崎利一議員、上林真佐恵議員の２人が、会派「共につくる東大和」（代表　尾崎利一議員）を結成しました。

また、広報委員会の委員については、次のとおり変更になりました。

◇広報委員会

新委員　上林真佐恵（共につくる東大和）

前委員　早川美穂（無所属）

湖南衛生組合議会への派遣

一部事務組合の湖南衛生組合議会には当市議会から２名の議員が派遣されていますが、上林真佐恵議員の当組合議会議員辞職に伴い、１名の欠員が生じていました。そのため、令和６年９月26日の第３回定例会最終日に補欠選挙を行い、新たな派遣議員として荒幡伸一議員が指名され、当選しました。

常任委員会行政視察報告

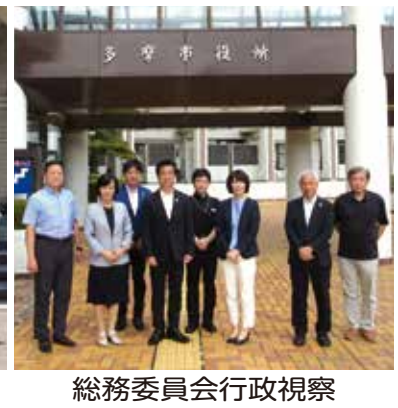
総務委員会

［日程］
○令和６年７月31日
［調査項目］
○東京都多摩市
・スマートシティに関する施策について
（多摩センターのまちづくりに係る事業について）

厚生文教委員会

［日程］
○令和６年７月18日
［調査項目］
○静岡県静岡市
・部活動の地域移行の取組について
（部活動改革「シズカツ」について）

厚生文教委員会行政視察



総務委員会行政視察

陳情の要旨

※件名の番号と各委員会における審査結果の番号は符合しています。
※(2)、(3)、(4)の陳情は、閉会中の「継続審査」となりました。

(1)「現行の健康保険証を残してください」マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める陳情

▼陳情者▲　武蔵村山市中央在所　東京土建一般労働組合村山大和支部
執行委員長　宮澤　良明ほか857名

▼要旨▲　２０２４年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、マイナ保険証と現行の健康保険証との両立を求めるように、国に意見書を提出してください。

３常任委員会（総務委員会、厚生文教委員会、建設環境委員会）の委員会活動報告書を市公式ホームページ（右記の二次元コードからアクセス可）に掲載しています。四半期ごとに内容を更新しています。ぜひ、ご覧ください。

(2)廃棄物処理手数料減免制度に関する陳情

▼陳情者▲（陳情者の氏名等は、希望により非公開）
▼要旨▲　廃棄物処理手数料減免制度で支給されるゴミ袋の大きさを選べるようにしてほしい。

(3)単年度要綱公開に関する陳情

▼陳情者▲（陳情者の氏名等は、希望により非公開）
▼要旨▲　東大和市被保護者自立促進事業実施要綱を含む単年度要綱をウェブサイトに公開し、また書面を市役所庁舎の閲覧が容易な場所に公開して欲しい。

(4)次世代育成支援費支給学年適正化に関する陳情

▼陳情者▲（陳情者の氏名等は、希望により非公開）
▼要旨▲　被保護者自立促進事業の次世代育成支援費を小学1年生から支給するようにして欲しい。

委員会での議論

総務

(1)「現行の健康保険証を残してください」マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める陳情は、不採択としました。

（主な質疑及び意見・討論）

問　マイナンバーカードの最新の交付状況について伺う。
答　マイナンバーカードの交付率は令和6年8月31日時点で約80％となっている。
問　国民健康保険加入者について、マイナンバーカードの交付状況等、健康保険証との紐づけの状況についてわかる範囲で伺う。
答　市の国民健康保険加入者のうち、マイナンバーカードを健康保険証として利用登録されている方は、令和6年6月末時点で約55％となっている。
問　マイナンバーカードと健康保険証を紐づけることで、市民にはどのようなメリットがあり、行政や医療機関にはどのような効果が期待されるのか。
答　マイナ保険証のメリットには、市民が過去の医療データに基づく適切な医療を受けられることや、保険証の作り替えが不要になること、行政の事務負担の軽減、医療機関での過誤請求の減少などがある。
問　マイナ保険証導入に関するトラブルの有無について確認したい。
答　現時点で市内の医療機関でのトラブル報告はない。
問　マイナンバーカード未作成者や健康保険証と紐づけをしていない国保加入者への対応として、資格確認書の作成・配付スケジュール等を伺う。
答　資格確認書は令和7年9月30日までに市が一斉交付する。
問　マイナンバーカードの取得は任意ということを再確認したい。
答　マイナンバーカードの取得は本人の意思に基づくものであり、義務ではない。
問　マイナ保険証と紙の健康保険証を利用した場合の診察料の差は。
答　マイナ保険証で受診した場合、現行の保険証よりも初診で20円、再診で10円安くなる。
問　マイナ保険証の利用率が低い理由について市の考えは。
答　利用率が低い理由は、現行の保険証が令和7年9月30日まで使用できるため、引き続き利用している市民が多いことが一因と考えられる。
問　市内医療機関におけるオンライン資格確認システム導入率と、マイナ保険証を持っている市民がシステム未導入の医療機関にかかる場合の対応について伺う。
答　オンライン資格確認システムの導入率は医科で約98％、歯科で約79％であり、未導入の医療機関では現在、現行の保険証を提示する必要がある。将来的には、資格情報のお知らせを提示することが想定されている。
意見　マイナ保険証を否定するものではなく、現行の健康保険証を当面の間存続させる穏便な対応を求めるものである。国政においてもこれに近い立場であるため、本陳情に賛同したい。
意見　所属政党として、陳情には賛同しない立場。マイナンバー制度導入と社会のデジタル化の推進を評価する。
意見　マイナンバーカードの取得は任意であり、強制でもない。自身の申請でも不信感を持った。国の強引な推進に疑念を持つ。健康保険証の廃止に反対。マイナ保険証制度の見直しが必要である。
意見　マイナ保険証の利便性を自身で感じている。現行の健康保険証が令和7年9月30日まで利用でき、資格確認書も送付される。医療を受けられる環境は変わらない。意見書を提出する必要はない。
意見　マイナンバーカードの取得は任意であり、強制されるものではない点を確認した。資格確認書が現行の健康保険証の役割を果たすため、名称が変わるだけで実質的な違いはないと考える。資格確認書の発行作業がスムーズに行われるかが懸念材料だ。
意見　資格確認書が健康保険証と同等であれば、なぜ現行の保険証を廃止し、変更する必要があるのか疑問だ。利用困難な人々への配慮が必要であり、医療アクセスの公平性を確保するため、紙の健康保険証を残すべきだ。
討論　マイナンバーカード取得・利用は任意であり、メリットを感じる人は利用すればいい。使いたくない人は使わない、という立場を国は守るべきだ。国民の大多数がマイナ保険証を使わない現実は、抵抗感の表れではないか。保険証に関わる様々な問題が紙の健康保険証を残すことで解消されることは明らかだ。

（所管事務調査）令和6年9月12日に、「市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関すること」として、令和6年6月から令和6年8月までの災害対応等について、総務部から報告を受け、質疑を行いました。次に、「これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）」を議題とし、当市の取り組み状況等について政策経営部及び総務部から説明を受け、質疑の後、委員間で意見交換を行いました。また、山形県長井市、南陽市を行政視察することと決定しました。

厚生文教

議案、請願・陳情などの審査案件は、ありませんでした。

（所管事務調査）令和6年9月13日に、「東大和市における中学校の部活動の地域移行について」を議題とし、令和6年7月18日に実施した、静岡県静岡市への行政視察の内容について、委員間で意見交換を行いました。
　また、同年10月1日に、「部活動の地域移行の取組について（アルティメットクラブの活動状況について）」を議題とし、教育委員会から説明を受け、質疑の後、東大和市清原中央公園運動広場で、アルティメットクラブの活動状況の視察を行いました。

建設環境

市道路線の廃止については、全会一致で原案どおり**可決**しました。

（所管事務調査）令和6年9月17日に、「温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について（環境対策課）」を議題とし、令和6年7月10日、11日に実施した長野県上田市及び長野県松本市への行政視察の内容について、委員間で意見交換を行いました。

一部事務組合議会報告

小平・村山・大和衛生組合議会

小平・村山・大和衛生組合は、ごみ処理施設の設置・運営等を行うため、小平市、東大和市、武蔵村山市の3市で組織しています。

◇組合議会議員
尾崎　利一　　押本　修
木戸岡秀彦　　中野志乃夫

○令和6年5月臨時会
1　開催日　令和6年5月29日
2　議事
・小平・村山・大和衛生組合一般会計補正予算（第1号）
ほか

小平・村山・大和衛生組合

協議会報告

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

三多摩上下水及び道路建設促進協議会は、三多摩地区の上下水道及び道路建設に関する調査研究を行い、その結果を実現するため、三多摩地区全市町村議会の代表で組織しています。

第1委員会（上水道）

◇第1委員会委員　髙峰　章

○第1回委員会

1　開催日　令和6年8月1日

2　議事

・令和6年度第1委員会活動計画（案）について

・国・東京都に対する陳情書（案）について　ほか

第2委員会（下水道）

◇第2委員会委員　石田昭太朗

◇協議会委員

関　綾子　早川　美穂

佐竹　康彦

○令和6年度通常総会

1　開催日　令和6年7月30日

2　議事

・令和5年度事業報告

・令和5年度収支決算及び監査報告

・令和6年度事業計画（案）

野火止用水

野火止用水保全対策協議会

野火止用水保全対策協議会は、野火止用水の歴史環境保全等の促進を図ることを目的に、これに必要な協議・調整を行うため、立川市、東大和市、小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市の6市で組織しています。

◇協議会委員

関　綾子　早川　美穂

佐竹　康彦

○令和6年度通常総会

1　開催日　令和6年7月30日

2　議事

・令和5年度事業報告

・令和5年度収支決算及び監査報告

・令和6年度事業計画（案）

・令和6年度収支予算（案）

・野火止用水保全に関する要望書（案）

・役員の交代について（案）　ほか

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会は、中央線の立体化複々線を促進し、地域社会の開発等地域振興を図り、合わせて青梅線、五日市線の輸送力増強や都心への直通を促進することを目的としています。

◇協議会構成員

議　長　東口　正美

建設環境委員会委員長

大川　元

○第56回総会

1　開催日　令和6年7月23日

2　議事

・令和5年度事業報告

・令和5年度歳入歳出決算・歳入歳出決算監査報告

・令和6年度事業計画（案）

・令和6年度歳入歳出予算（案）

・役員改選　ほか

JR中央線

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会は、多摩地域の都市モノレール等の建設を促進し、南北交通結節機能の強化を図ることにより公共交通機関の不足を補い、自立都市圏の確立と、地域社会の開発等を図ることを目的としています。

◇協議会構成員

議　長　東口　正美

建設環境委員会委員長

大川　元

○第43回総会

1　開催日　令和6年7月23日

2　議事

・令和5年度事業報告

・令和5年度歳入歳出決算・歳入歳出決算監査報告

・令和6年度事業計画（案）

・令和6年度歳入歳出予算（案）

・役員改選　ほか

多摩モノレール

議長が出席した会議

全国市議会議長会

東口正美議長が出席した主な会議（全国市議会議長会、関東市議会議長会及び東京都市議会議長会等）について報告します。開催された期間は、令和6年4月1日から9月30日までです。

○定期総会

1　開催日　令和6年5月22日

2　議事

〈部会提出議案〉

・令和6年能登半島地震からの復旧・復興に係る要望について

・東日本大震災からの復旧・復興について

・原子力発電所事故災害への対応について

・災害対応力強化及び災害等からの復旧・復興のための支援について

・物価高騰等に対する地方自治体への財源措置について

・学校給食費の完全無償化について　ほか

〈会長提出議案〉

・多様な人材の市議会への参画促進に関する決議（案）

・地方税財源の充実確保及び地方創生・地方分権の推進に関する決議（案）

・下請けいじめの根絶を求める決議（案）

・令和6年能登半島地震からの復旧・復興に関する決議（案）

・東日本大震災からの復旧・復興に関する決議（案）　ほか

○市議会議員共済会代議員会

1　開催日　令和6年5月23日

2　議事

・事務報告ほか

・令和5年度市議会議員共済会決算について　ほか

関東市議会議長会

○定期総会

1　開催日　令和6年4月25日

2　議事

〈会長提出議案〉

・令和5年度関東市議会議長会歳入歳出決算

・令和6年度関東市議会議長会歳入歳出予算

〈都県提出議案〉

・認知症との共生社会の実現を目指した支援措置について

・学校給食費の完全無償化について

・原油価格・物価高騰への対策について

・有機フッ素化合物ＰＦＡＳによる汚染の原因究明と迅速な対策等を求める意見書

東京都市議会議長会

○4月臨時総会

1　開催日　令和6年4月17日

2　議事

・令和5年度東京都市議会議長会歳入歳出決算の認定について　ほか

○5月理事会・定例総会

1　開催日　令和6年5月29日

2　議事

・各市提出議案について

・令和6年度東京都市議会議長会研修計画について

・令和6年度東京都市議会議長会事業計画について

・令和6年度東京都市議会議長会関係役員について　ほか

○8月理事会・定例総会

1　開催日　令和6年8月7日

2　議事

・各市提出議案について

・都県提出議案について

・令和6年度東京都市議会議長会関係役員について　ほか

東京都北多摩議長連絡協議会

○定例総会

1　開催日　令和6年8月9日

2　議事

・令和5年度東京都北多摩議長連絡協議会事業報告について

・令和5年度東京都北多摩議長

連絡協議会歳入歳出決算の認定について
・令和６年度東京都北多摩議長連絡協議会事業計画（案）について
・令和６年度東京都北多摩議長

連絡協議会歳入歳出予算（案）について
・令和７年度東京都北多摩議長連絡協議会役員（案）について　ほか

東京都三多摩地区消防運営協議会

○役員会及び通常総会（書面開催）
１　開催日　令和６年５月31日
２　議事
・令和５年度東京都三多摩地区消防運営協議会経過報告
・令和５年度東京都三多摩地区

消防運営協議会歳入歳出決算
・令和６年度東京都三多摩地区消防運営協議会歳入歳出予算（案）
・役員改選について　ほか

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

○理事会及び総会
１　開催日　令和６年５月28日
２　議事
・令和５年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出決算の認定について

・令和６年度三多摩上下水及び道路建設促進協議会歳入歳出予算（案）について
・役員の選任について
・総会決議（案）について　ほか

東京河川改修促進連盟

○理事会（書面開催）
１　開催日　令和６年６月３日
２　議事
・令和５年度事業報告及び歳入歳出決算
・令和５年度会計監査報告

・令和６年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）
・令和６年度分担金（案）
・第62回総会及び促進大会（案）
・令和７年度役員（案）

会議録検索システムの運用を開始しました

令和６年10月から、東大和市議会の会議録（本会議、臨時会、予算・決算特別委員会、３常任委員会）を検索・閲覧できるシステムの運用が始まりました。

市議会における発言内容等をこれまで以上に詳細、かつ簡単に調べることができます。ぜひ、ご活用ください。

※検索システムに掲載している会議録は、令和元年（平成31年）以降のものです。
※校正が終了した会議録を随時掲載いたしますので、時間を要することについて、あらかじめご了承ください。

▶こちらの二次元コードから検索ページにアクセスできます

監査委員の活動内容

監査委員は、主に地方公共団体の財務に関する事務執行及び経営に係る事業の管理を監査するために設置された独任制執行機関です。例月出納検査ほか、決算及び基金運用状況に係る審査等を行います。

◇監査委員　中村庄一郎（議会選出）
◇開催日及び内容
▽４月17日～18日　監査委員特別セミナー（千葉市）
▽４月23日　令和６年度東京都市監査委員会定期総会（府中市）
▽４月25日　例月出納検査
▽５月28日　例月出納検査
▽６月25日　例月出納検査
▽７月３日　令和６年度関東都市監査委員会定期総会（川崎市）
▽７月16日　令和５年度決算審査
▽７月25日　例月出納検査
▽８月13日　令和５年度健全化判断比率等審査
▽８月22日　市長への講評（令和５年度東大和市各会計歳入歳出決算・下水道事業会計決算及び基金運用状況審査）、例月出納検査
▽９月19日　市議会決算特別委員会
▽９月27日　例月出納検査

市議会だよりの表紙を飾る写真を募集中!!

【採用作品】

289号（８月１日発行）
「たまや～」

288号（５月１日発行）
「アジサイの季節」

市内で撮った写真であれば、どなたでも応募できます。

【募集要項】
○撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品（横構図のカラー・モノクロ写真）を募集しています。
○作品は議会事務局にて随時募集しています。（市内・市外在住は問いません）
○人物が明らかに特定できる場合は、ご本人に了承を得てください。
○応募作品は原則としてお返しできませんので、ご了承ください。
○採用作品の著作権は、東大和市に帰属します。
○詳しくは、下記までお問い合わせください。

〈送付及び問い合わせ先〉
東大和市議会事務局　庶務調査係
（電話）042−563−2111　（内線2002）

市議会を傍聴してみませんか

会議は公開が原則です。傍聴はどなたでもすることができます。

傍聴の際は手続が必要となります。ご希望の方は議会事務局の窓口までお越しください。

市議会の傍聴時に手話通訳をご利用いただけます

本会議及び委員会などにおいて、手話通訳を配置することができます。

聴覚障害のある方で、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する日の１週間前までに、日程（午前・午後）・氏名・連絡先のファクス番号を明記し、ファクスにより議会事務局までお申し込みください。

議会事務局ファクス番号　042-563-5926

第８回東大和市議会「市民の声を聴く会」を開催します！

日時　令和６年11月17日（日）午後２時から
場所　中央公民館（次のとおり、**委員会ごとに会場が分かれています。**）
総務委員会：301学習室　厚生文教委員会：201学習室
建設環境委員会：視聴覚室
※事前申し込みは不要です。直接、ご希望の委員会の会場へお越しください。
※手話通訳を希望する方は、11月6日（水）までにご連絡ください。
（FAX番号　042-563-5926）

各委員会が所管する主な分野の内容等について、皆様の声を広く聴かせていただく会をグループディスカッション形式で実施します！

委員会名	所管事務調査のテーマ	委員会が所管する主な分野
総　務	・市の防災及び防犯対策のうち総務部の所管に関すること ・「これからの50年、未来につながる施策（公共施設・スマートシティ・人材育成）」について	・シティ・プロモーション、ふるさと納税 ・公共施設　・総合計画など市政全般 ・デジタル化　・防災、防犯など
厚生文教	・東大和市における中学校の部活動の地域移行について	・子育て支援　・国保、介護保険 ・福祉施策　・学校教育　・社会教育など
建設環境	・温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について（環境対策課）	・観光、産業振興 ・環境（廃棄物処理等を含む） ・都市建設（道路、公園）　・農業など

閉会中に行われた会議

＜ 7 月＞
16 日　○広報委員会
31 日　○総務委員会
＜ 8 月＞
29 日　○議会運営委員会

議長・議員が出席した会合等

＜ 6 月＞
24 日　○東京都北多摩議長連絡協議会関係役員市議長・局長会
25 日　○監査委員例月出納検査
＜ 7 月＞
23 日　○第 56 回三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会
　　○第 43 回多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会
25 日　○監査委員例月出納検査
26 日　○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第３委員会
30 日　○野火止用水保全対策協議会通常総会
31 日　○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第２委員会
＜ 8 月＞
1 日　○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第１委員会
7 日　○東京都市議会議長会理事会
　　○東京都市議会議長会定例総会
8 日　○第 62 回東京河川改修促進連盟総会及び促進大会
9 日　○東京都北多摩議長連絡協議会定例総会
　　○東京都北多摩議長連絡協議会研修会
22 日　○監査委員例月出納検査

12 月議会の予定

※通常の会議時間は午前９時 30 分～正午、午後１時 30 分～５時です。

日	月	火	水	木	金	土
11／17	18	19	20	21	22 正午／初日付託分請願・陳情受付締切	23（勤労感謝の日）
24	25	26 午前９時 30 分／議会運営委員会	27	28	29 開会・議案等審議・請願及び陳情の付託など	30
12／1	2 一般質問	3 一般質問	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7
8	9 （休会）	10 常任委員会	11 常任委員会	12 午前９時 30 分／常任委員会 **午後５時**／最終日付託分請願・陳情受付締切	13 （休会）	14
15	16 午前９時 30 分／議会運営委員会	17 （休会）	18 委員会審査報告等・閉会	19	20	21

※日程は11月26日に開催される議会運営委員会で正式決定されるため、変更する場合があります。
なお、日程を決定次第、市公式ホームページへの掲載及び公共施設への掲示を行います。
問い合わせ先　　議会事務局
電話　042-563-2111　内線2002
FAX　042-563-5926

市議会公式Ｘ（旧ツイッター）では、本会議での各議員による一般質問の日程情報を発信しています。
左記の二次元コードからご確認いただけます。
ぜひ、参考にしてください。

9月議会での議案等の結果

件名	会派名・会派人数 公 4	自新 3	や 3	立国 3	自 2	共に(※) 1	会派 無所属 無① 1	無② 1	無③ 1	無④ 1	結果
選挙　1件											
東大和市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	選挙
議会人事案件　1件											
湖南衛生組合議会議員補欠選挙	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	選挙
市長提出案件　22 件											
令和５年度東大和市健全化判断比率について	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	報
令和５年度東大和市下水道事業会計資金不足比率について	／	／		／	／	／	／	／	／	／	報
東大和市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
令和５年度東大和市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	認
令和５年度東大和市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	認
令和５年度東大和市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	認
令和５年度東大和市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	認
令和５年度東大和市下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	認
令和５年度東大和市下水道事業会計剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市における個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市立老人福祉施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可
東大和市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可
東大和市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	可
令和６年度東大和市一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	可
令和６年度東大和市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和６年度東大和市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
令和６年度東大和市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
市道路線の廃止について（市道第１５０６号線）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議員提出案件　2件											
シルバーパスを多摩都市モノレールに適用するよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
北朝鮮による弾道ミサイル技術を使用した発射に抗議する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
陳情　4件											
「現行の健康保険証を残してください」マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を求める陳情	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	不
廃棄物処理手数料減免制度に関する陳情	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	継
単年度要綱公開に関する陳情	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	継
次世代育成支援費支給学年適正化に関する陳情	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	継

件名　会派名・会派人数 公 4 自新 3 や 3 立国 3 自 2 共に(※) 1　会派 無所属 無① 1 無② 1 無③ 1 無④ 1　結果

（※）共につくる東大和 上林議員より、９月３日（初日）及び 26 日（最終日）の本会議を欠席する旨の届出があったため、会派人数を１名としています。

上記の会派人数は、所属議員数です。ただし、公明党については東口議長を除いた人数です。
会派名略称：公…公明党【佐竹・木戸岡・中間・荒幡】　自新…自由民主党新政会【中村・木下・森田】
や…やまとみどり【床鍋・中野・金井】　立国…立憲国民クラブ【二宮・大后・石田】
自…自由民主党【蜂須賀・押本】　共に…共につくる東大和【尾崎・上林】
会派　無所属：無①…無所属（日本維新の会）【髙峰】　無②…無所属（生活者ネットワーク）【関】
無③…無所属【大川】　無④…無所属（日本共産党）【早川】
※会派　無所属の（　）内は所属政党名等です。
賛否：○…賛成　×…反対
結果：報…報告　同…同意　認…認定　可…原案可決　不…不採択　継…継続審査

12月議会は11月29日に開会予定　次号の市議会だよりは2月1日発行予定

UD FONT　見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。